



新豎町商店街

空 3/5 (土) 開講 空き家をまちの宝ものに変えよう

空き家が開くと、まちが豊かに！

空き家には何かとマイナス・イメージがありますが、空き家をまちの「宝もの」に変えようとしているのが新豎町の不動産屋さん、E.N.N.（えん）・金沢R不動産です。

同社マネージャーの奥隆生さんは金沢の空き家は人気だと言います。

「金沢の旧市街地の空き家を活用したいという方は確実にいます。古い空き家をオーナーさんは、こんな家を借りる人はいないと思われていますが、ちよつと手を加えて住みたい、お店にしたいという

人はたくさんいます。ところが、物件が少なくて、なかなかご希望に答えられません。裏通りを散策すると、空き家らしいお宅をいくつか見かけられるのですが…。

今回のまち塾では「空き家をまちの宝ものに変えよう」のテーマで、同社が手がけた住宅や店舗のリノベーションについてお話しします。また、ご近所で開店したばかりの飲食店も視察します。後半の公開相談会では、空き家を貸したい人と借りたい人とで意見交換し、それぞれの希望をお聞きします。



塾長の奥おくです

有限会社E.N.N.

2007年に金沢で開業。東京

R不動産との提携で金沢らしい

物件を全国的に紹介。リノベ

ーションのデザイン提案もする、

不動産仲介+設計デザイン

事務所。

有限会社E.N.N. マネージャー



E.N.N.(えん)のまち塾

テーマ 空き家をまちの宝ものに変えよう

講師 奥 隆生さん

有限会社E.N.N. 金沢R不動産 マネージャー

開催日時 平成28年3月5日(土)

10:00~12:00

会場 有限会社E.N.N. (金沢市新豎町3-61)

内容 講話：空き家は宝もの(リノベーション事例紹介)
見学：新豎町の新店舗を視察(飲食店)
公開相談会：貸したい人と借りたい人の意見交換

定員 20名(受講料無料)

申込方法 お電話でお申し込みください。

TEL 076-263-1363

お名前、連絡先電話番号、ご住所をお伝えください。

お電話受付時間 10:00~17:00

定休日 水曜日・日曜日



町家を改修して造った人気の居酒屋、本多町の「酒屋彌三郎」。E.N.N.の仲介と設計で2014年3月に開店。リノベーションのコンセプトなどをまち塾でお話します。

まち塾をこんな人に聞いて欲しい、来て欲しい

- 家を見るのが好きな方、●建築デザインに興味のある方、●空き家を探している方、●空き家をお持ちの方などのご参加をお待ちしております。

新堅町商店街



- 新堅町商店街は約60店舗で構成されています。周辺は昔からの住宅地で、「こまちなみ」も残された、金沢らしい風情のある地域です。
- 堅町と新堅町は連続する商店街でしたが、1971年に犀川大通りが整備され、両町が分断されてからは、それぞれ個性的な成長を遂げます。新堅町が「骨董通り」であった時期もあります。
- 現在の新堅町商店街は「しんたてふれあい祭り」や「しんたてコーヒー大作戦」などのイベントで、感度の高い若者や市民を集め、大いに賑わっています。

八百屋さんのリノベーション
 新堅町の中程にある八百屋松田久直商店は、百年続く老舗の八百屋さん。2009年に旧店舗をリノベーションし、風格を感じさせるスタイルになりました。E.N.N.の仕事です。



「まち塾」とは

- まち塾は地元商店街の活性化を目的に、店主が塾長、地域住民（お客様）が受講者になり、専門店ならではの知識や情報を講話や実習でお伝えし、相互の関係を深めるものです。
- まち塾は地域資源を活用したカリキュラムを提供します。新堅町では懐かしさを感じさせる、ヒューマンスケールのまち並みと、町家を活用した店舗群を地域資源と捉えました。
- 今回は空き家を題材に、商店街と共存する空き家の活用を、受講者の皆様と考えます。

昨年度のまち塾

● 新堅町商店街では「kimono 畳世」「KiKU」「KOKON」でまち塾を開講しました。毎回20名前後の受講者が参加。ご自身の着物を持ち込んでの相談（畳世）、自作のクラフト作品を持参された方（KiKU）、靴の修理を依頼された方（KOKON）など、まち塾を積極的に活用される方も現れ、この事業が大いに手応えを感じました。

来年度も開講を予定しています。

